

2000年 新年号

WVA!

VOL. 1

L'hôpital KYOWA



ご挨拶

「2000年を迎えて」

人類の進歩、文明の発達にともない、人間、個々の価値が問われる時代を迎えてやっと先進国の仲間入りする日本です。見せかけの時代から質を問われる21世紀をめざして、医療法人共和会は皆様から心から信頼の得られる様、日夜努力をしております。

「優しい医療」「楽しい職場」を理念とし、システム作りを推し進めております。職員それぞれのストレスがあっては優しさなどあろうはずがありません。心に余裕があってこそ患者様への「優しさ」が生じるものと信じております。言葉の表現としては簡単ですが、実行する事は非常に難しいことです。しかし何もしないでいては変わり様がありません。目標に向かって一歩一歩前進してまいります。共和会は共和病院を軸として、精神科289床、長期療養型病床群52床、デイケア、そして98年グループホーム、更に99年訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所を設立して精神障害者の方々、またご高齢の方々への医療、福祉サービスを行います。今後は他の医療機関や福祉機関とのネットワークの輪を広げ、住みやすい地域をめざしてゆきますので皆様のご支援、ご指導を何卒宜しくお願い致します。



理事長
加藤 仁

優しい医療と楽しい職場をモットーとする共和病院の広報誌を千年紀の最後の年より発刊することに致しました。その趣旨は地域の皆様に共和病院の医療のこれからの在り方をしっかりと観ていただき、安心納得して来院して下さいます様にとの念願と、院内の職員同志の援け合いの心を一層強いものにして、共和病院は自分たちの病院であるとしっかり信じて欲しいという念願でございます。従ってその内容は院内の行事や設備等の紹介、生活習慣病や気を付けたい病気の注意用心というようなお話、新しい薬の説明等の他に職員の動行、活動等もありますし、趣味の欄も設けてあり堅苦しくない紙面に致したいと考えております。なにとぞ皆様からのお話や、この広報誌へのご批判がありましたら遠慮なくご投稿の程お待ち申し上げます。

唯、創刊号の出来映えがどんなものか今から心配でございます。広報誌の表題を決めるに当たって、あらかじめ選んであった候補の中にはあまりにも平凡なものも多く、広報誌編集委員会で採用したのが「WA!」でございます。和とも輪ともれますし、ワアという驚嘆とも考えられます。こんな妙な表題なら一寸読んでみようかと皆様が思われるのではないかと想っている次第でございます。こちらの想いにつられてご笑覧下されば誠に有り難い限りでございます。



名誉院長
加藤 邦之助

21世紀の病院

千年紀の締め括りを迎え、
21世紀の病院を想像してみました。

時は20××年、電話に代表される通信手段とケーブルテレビ、インターネットの融合により家庭に於いてはテレビ電話が普及し、診察の予約に留まらず、問診や診察に大活躍、在宅療養と病院の距離もぐっと縮まります。その横には指を入れると簡単な検査をしてくれるセンサーがあり、病院の簡易診断システムと直結しており、精密検査や来院が必要なこと、診察の予約が自動的に行われるようになります。

また、病院にお越し頂くと待合室の個室化が進み、患者様の希望に添った環境をバーチャル空間として疑似体験しながらお待ちいただけるようになるでしょう。精密検査と言えばカプセルに横になり1分ほど待っていただければ体の隅々まで検査でき煩らさが無くなります。バイオテクノロジーや遺伝子技術、クローン技術の飛躍的な発展と共に、癌の撲滅や自身のクローン臓器による臓器移植などが行われているかもしれません。

入院に於いてもバーチャル空間を利用した療養環境などのアメニティーの向上と、介護ロボットのようなハイテク機器、患者様を中心にしたチーム医療が更に進みむ事でしょう。医療技術の発展ばかりに目がいきがちですが、21世紀は心の時代とも言われます。医療技術のみならず、医療スタッフによる患者様の心のケアに最も力が注がれる時代になるでしょう。こうして、医療機関の機能分化や差別化が進み、医療サービス選択の時代になっていることでしょう。

1999年 共和会の活動

- 4月 桜クリニック 笠原 嘉 院長就任
- 5月 第2回共和病院地域医療シンポジウム開催



防災訓練(大府消防署合同)

- 6月 家族会開催
- 7月 家族会ぶどう狩り
指定居宅介護支援事業所「菜の花」開設
一般病棟、外来フロア及び事務室改装



- 8月 盆踊り
療養型病床群施設基準届出
理学療法(Ⅱ)施設基準届出
- 9月 自主防災訓練
家族会開催
グループホーム「けや木」申請中
(平成12年認可予定)
- 10月 外来待合
インフォメーションディスプレイ設置
- 11月 家族会開催
医事、給食、栄養指導の
新コンピュータシステム導入
- 12月 訪問看護ステーション
「ソレイユ」開設
共和会ホームパーティー開催

共和会ホームパーティー 潜入レポート

昨年12月18日、共和会のホームパーティーが大府市勤労文化会館で開かれました。町がすっぽり夕闇に包まれた午後6時頃、ふだんの白衣を脱ぎ捨てあでやかなドレスに身を包んだ看護婦さんやおしゃれなスーツ姿の先生たちが続々会場へと向かいます。参加者は、共和病院やクリニックの先生、看護婦さん、その家族の皆さんなど総勢二百数十名。

定刻の午後6時15分、加藤邦之助

名誉院長、加藤仁理事長のごあいさつでいよいよパーティーの幕が上がりました。まずは桜クリニックの笠原院長の音頭で全員揃って乾杯!先生は、「目の前の悩んでいる人を直接助けてあげる仕事ができる我々は幸せです」とごあいさつされました。

食事、歓談の後は本日のメインイベント、加藤理事長率いるバンド「ミレニアムサンタクロース」のコンサートです。ベンチャーズ、加山雄三などの懐かしい曲が演奏されると会場はイッキに興奮のるつぽに!



舞台の前では、思わず踊り出す看護婦さんも。

地元東浦和太鼓の皆さんの勇壮な演奏の後は、サンタクロースが登場して子供たちにプレゼントが配られました。その後は、お待ちかねの抽選会へ突入! 名誉院長がくじを引くたび、会場のあちこちから歓声やため息が上がります。1等賞のディズニーランド旅行が食養課の宮崎さんに当たるとひととき大きな歓声があがりました。

最後に共和病院の榎本院長の「ご家族の支えがあってこそ、私たちはがんばれる」というごあいさつでお開きとなりました。ふだんの先生方や看護婦さんたちの人柄と同じようにあたたかいパーティーでした。



私の趣味は走ること？



私が走るのなぜ？

何のために走るの？健康のため(走らなくたって健康そのものじゃないこの体)ダイエット(えっ本当？あんまり変わらないじゃない走ってても)仲間作り(飲むための?)ストレス解消(ストレスなんて無いみたいな顔してるのに) etc、色々な声が聞こえてきそうですが、結局は好き

なんです走るの
が……。そんな
私が去年走った
レースは、1月豊
明シティマラソ
ン10km(アッ
ダウンがきつい、
走った後のプ
タ汁は美味し
かった)4月三
好池桜マラソ
ン10km(走
った後の桜の
下でのパ



ーベキューは最高)7月やぶはらマラソン5km(延々と続く長い坂、何で私は走っているのだろうか)10月諏訪湖マラソン21km(ハーフに始めて挑戦!秋の信州を満喫、走った後は温泉に)11月大府シティマラソン10.5km(沿道の秋桜が綺麗だった)昨年目標としていた5レース全て完走!頑張った自分を誉めて上げよう。どのレースでもいいから今年はどうなにか一緒に走りませんか?

総婦長 荒木 多美枝

子育て ノウハウ

～シリーズの始めに～

新聞

・テレビなどのニュースを見ると毎日のように子どもに関する事件が取り上げられている。子どもへの虐待・中学生の売春・テレクラ遊び・校内外の暴力・学級崩壊・子どもの自殺など、20世紀末を向かえていった子どもに何が起きているのだろうか。生まれた時には何も無い無垢のものとして、この世に現れた子ども達だったはずなのに、どうしてこのような困難に見舞われるのか。もちろん今まででも先に上げたような事例は無かったわけではないが、増加傾向にあるのも確かである。

昔の人は「三つ子の魂百まで」と喻え、3歳までに基本的な生活習慣の自立や人間関係をはじめ、社会性も身に付くものであると述べていた。しかしながら文明や経済の発展にともない家庭の機能が変化し、家族の役割の多様化している中で、子供を産み、子どもを育てることは女性にとっては生活の“一部分”でしかないのかもしれない。そういう中での子育てについて今後考えてみたい。

院長 榎本 和

医療法人共和会は平成11年7月30日より指定居宅介護支援事業所「菜の花」を、12月1日より訪問看護ステーション「ソレイユ」を開設いたしました。皆様のご利用を心よりお待ちしております。

菜の花 ソレイユ



訪問看護ステーション

ソレイユ

ソレイユでは、病気やけがなどにより在宅で療養・加療の必要がある方、痴呆症や精神障害などの方々の訪問看護をいたします。

また、介護保険制度によって要介護認定を受けられた方もご利用いただけます。

訪問看護婦が直接ご自宅にお伺いし、ケアや在宅療養のお手伝いをさせていただきます。

私どもは、介護者の負担を軽くすると共に療養される方がより快適な生活を送られるよう支援させていただきます。

訪問看護のご依頼には「ソレイユ」をご利用下さい

営業日/月曜日～金曜日
営業時間/9時～17時まで
住所/大府市梶田町2-123(共和病院内)

ソレイユは
フランス語でひまわり
花言葉は
いつもあなたのおそばにいます

介護保険によるケアプランの策定には「菜の花」を是非ご利用下さい。ご利用者の経費負担はございません。

営業日/月曜日～金曜日
営業時間/9時～17時まで
*ただし、国民の祝日、12月29日から1月3日までを除く
住所/大府市梶田町2-123(共和病院内)

TEL&FAX
0562-45-1161

TEL&FAX
0562-45-1171



指定居宅介護支援事業所

菜の花

菜の花は、介護保険制度による要介護認定の申請代行や要介護認定後のケアプラン(介護サービスの利用計画)を作成します。

私どもではご本人やご家族と相談しながら、在宅での療養者や高齢者に対して家族の希望、家庭の事情に合わせた無理のないケアプランを提案します。



編集後記

共和の和、平和の和、友達の輪、話題の話、ワアと喜びや驚きを表す「わ」etc、「わ」にも沢山の「わ」があります。色々な「わ」を感じていただくために敢えてタイトルをWA!にしてみました。

皆様方と私共の色々な「わ」の思いが通い合うコミュニケーションツールとして、読みやすい記事、親しみのもてる記事、ヒューマンタッチな記事で、読者の皆様方がそれぞれの「わ」を感じていただけるような紙面作りを心がけていきたいと思っています。創刊号と言うこともあり、まだまだ紙面作り不備な点、工夫の余地も多々あるかとは思いますが、読者の皆様と私どもを結ぶ架け橋として末永くご愛読いただける様になればと願っております。



医療法人 共和会 **共和病院**

愛知県大府市梶田町2-123

TEL.0562-46-2222(代)

URL(www)http://kyowa.or.jp/

俳句コーナー

名誉院長
加藤 邦之助

一人居や

思うことなき

三ヶ日

漱石

夏目漱石は私の最も好きな作家です。この句は大正元年四十五才の句で水原秋桜子先生もいかに漱石らしい句とほめておられました。明治二十二年(二十二才)正岡子規と知り合う俳句を作る様になり、二十八才の時子規の郷里四国松山の中学教師となつて、高浜虚子と出会い俳句に熱中、後に虚子の「ホトギス」に「吾輩は猫である」が発表されることになりました。

新春号といつしてお正月の句を選びました。